

新聞の「おくやみ欄」について

恵那市では、新聞紙の「おくやみ欄」が土日は掲載されず、月曜日にはすでに葬儀が終わっていることがあります。土日新聞社と連携して、掲載してほしい。

(青明さん・大井町)

答

「おくやみ欄」への掲載については、市民の方からの申し出によって行っています。また掲載に当たっては、正確な情報をお知らせするため、氏名など戸籍を確認した上で新聞社へ連絡しています。土日および祝日に届け出があった場合は、休み明けに戸籍の確認を行っています。また恵那市に戸籍がない場合は、他市町村に確認後、新聞社へ掲載の連絡を行っています。

このような事情から、正確な情報を皆さんにお知らせするため、

掲載が遅れることとなりますが、ご理解をお願いします。

(市民課)

道路で目にするたばこの吸い殻について

道路にたばこの吸い殻が目につきます。たばこは歩きながら吸うものではないと思います。東京都でも、あちこちで禁煙になっていきます。恵那市も観光都市です。思い切って市内を禁煙地域にしたい。

(篠原さん・大井町)

答

路上喫煙禁止区域を設ける自治体が増えていますが、これは人込みの中でたばこを吸うと、他人にやけどを負わせたり、他人の衣服を焦がしたりするなど、大変危険な行為であるからです。従って、実施している自治体の多くは、主要駅周辺や繁華街などに限定しています。ご指摘はもつとですが、人の行動を制限するには慎重な対応が必要となります。

路上喫煙禁止区域の設定については、今後、市民の皆さんの意見を広く聞きながら検討します。

(環境課)

市交通災害共済事業の廃止について

現在は、車社会と言われるほどの社会の隅々まで車が渡っています。事故は使用する者の心一つで重大な事態を招きます。市民が犠牲者や加害者になったときを考えると、本当に市交通災害共済事業を廃止していいのでしょうか。

(Y・Sさん・東野)

答

市交通災害事業については、急激な車社会の到来に伴い、多発する交通事故被害者の救済制度として、昭和43年に創設されました。しかし現在では、民間会社による保険制度が普及・充実し、交通災害などを含めた障害・損害保険、共済制度など保障制度が充実しており、市交通災害共済への加入者も、年々減少傾向にあります。

合併後、市は行政運営のスリム化と適正規模を目指した、市行政改革大綱の推進に努めています。その中で、交通災害共済制度は、市行政評価委員会によって存続・廃止について議論され、民間保険事業の現状を踏まえ、「平成19年度廃止に向け、平成18年度中に調整する」と平成18年1月に答

申され、その内容を本紙で公表しています。その後1年かけて、市民の皆さんの加入状況など検討した結果、行政として制度創設当初の役割は終わったものと判断し、平成18年12月議会で廃止が可決されました。

なお市交通災害共済事業に加入されている方で、平成19年3月31日までの間に交通災害に遭われた方は、その日から2年間、「共済見舞金」を請求することができます。また今日まで、皆さんが拠出され、積み立てられてきた基金につきましては、今後、交通安全のための対策や施設整備事業に活用していきます。

(防災対策課)

施設の有効利用を

山岡町で今まで使用していた公共の建物が、壊されると聞きまし。公民館や資料館は老朽化のため、婦人の家やヘルシーハウスも23年のうちに。建物がたくさんあり過ぎるのは分かっていいますが、利用しているものもありません。このような施設をうまく利用することはできないでしょうか。

(安藤さん・山岡町)

答

市では、平成18年3月に市行政改革大綱を策定し、行財政改革に取り組んでいます。計画の中では、「公の施設で、同じ用途のほかの施設で代用できないか」「施設本来の役割を達成できているか」などの判断により、施設の統合および廃止を計画的に進めています。

現在の市は、同じ規模の自治体と比べ、非常に多くの公共施設を有しており、施設の統廃合は真摯に取り組むべき課題となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

山岡公民館は、老朽化のため山岡農村環境改善センターに統合しましたが、山岡農村婦人の家とヘルシーハウス山岡は、現状のとおり利用いただけます。

また施設の統廃合については、今後本紙などによりお知らせしていきます。

(山岡振興事務所振興課)



中山道広重美術館

広重賞第3回恵那市こども版画コンクール入賞作品

今回のコンクールには、市内21の小中学校・幼稚園・保育園から2468点の応募があり、154点が入賞しました。

作品展 3月15日(木) 4月8日

(日)月曜、3月22日(木)休館)午前9時半 午後5時(入館は午後4時半まで)

表彰式 3月18日(日)午前10時
中山道広重美術館メインラウンジ(無料ゾーン)

問い合わせ 中山道広重美術館
TEL 20 0522



市長賞 千道友里絵さん「夜泣き桜」(東野小5年)



広重賞 高野愛理さん「ミシン練習」(武並小5年)



美術館館長賞 西尾菜美さん「とびこ」(武並小2年)



市観光協会賞 堀あかりさん「岩村の奥の細道」(岩邑中1年)



市教育長賞 長谷川里香さん「あそんでいるおしし」(東野小1年)



市議会議員賞 丹羽真里亜さん「給食当番がつくみそしる」(武並小4年)



市文化振興会賞 有賀まなみさん「うまくとべるな」(大井第二小2年)



恵那市校長会賞 橋充くん「リコーダーをふく友だち」(大井第二小3年)



恵那市商店街連合会賞 市川美菜実さん「きれいにしようはみがき」(恵那北小2年)



商工会議所会頭賞 南中道駿地くん「こぶとりじいさん」より おじいさんのおどりが上手で、鬼も楽しくなっておどったよ」(二葉幼稚園)

奨励賞 近藤甲斐(中野方小3) 竹内おうが(武並小1) 宮地祐奈(武並小2) 安藤みなみ(武並小4) 渡辺美咲(武並小4) 西戸真菜(武並小5) 石川将司(武並小5) 渡辺雅也(長島小2) 阪上真由(長島小4) 鷹見悠世(長島小6) 太田紗耶(大井小5) 篠原翔(東野小2) 長谷川真理(東野小3) 伊藤麻子(東野小5) 鈴木春菜(東野小6) かちあかり(大井第二小1) 浅野美友(大井第二小3) 石田麻友(大井第二小6) もりいあやな(大井幼稚園)